

芸術（音楽）

【はじめに】

音楽の学び方は幅広いです。楽譜を読み解いて音にするだけでなく、音楽を通して思考力や生きるための力を養うこともできます。

それは LIBERALARTS（教養）としての音楽です。音楽で培われた物の見方、考え方は、音楽の分野だけでなく、他の分野でも生かすことができます。対象や領域を超えて精神機能が育つということを学んでください。

【授業を受けるにあたって】

なぜこのような曲調なのかを知るためには、楽典とソルフェージュの基本的な知識が必要不可欠です。

学んだことを次の授業に生かせるように、わからないことはそのままにしないで授業内で質問をして解決しましょう。

様々な音楽に関心を持ち聴きましょう。積極的に、自主的に、素直に取り組んでください。

【観点別評価の方法】

○知識・技能の習得（体系化、汎用性）

曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

○思考力・判断力・表現力の育成（思考力、判断力、表現力）

自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

○主体的に学習に取り組む態度（実践力、協働力）

主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

【教材】

MOUSA(教育出版社)

三味線入門

高校生のための音楽研究ノート